

令和5年5月24日

一般社団法人日本応用地質学会九州支部
九州応用地質学会
役員・会員 各位

一般社団法人日本応用地質学会九州支部 支部長
九州応用地質学会 会長
池見 洋明

令和5年度 通常総会資料のご案内

拝啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より当学会の活動にご理解とご協力を賜りまして、深く感謝申し上げます。

さて、令和2年度から昨年度までの総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、オンラインを主体とした開催を余儀なく続けてまいりましたが、今年度は4年振りに対面を主体としたハイブリッド形式で開催いたします。

また、会後の意見交換会も行います。役員・会員皆さまにおかれましては、直接お目にかかれる大切な機会でございますので、開催を心待ちにしております。

つきましては、今年度の総会資料を送付いたしますので、内容をご覧いただき、ご質問・ご意見等がございましたら、事務局までご連絡ください。

以上、どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

一般社団法人日本応用地質学会九州支部・九州応用地質学会 事務局
(日本地研株式会社 技術部内)

〒812-0894

福岡市博多区諸岡5丁目25番25号

TEL : 092-571-2766

FAX : 092-571-2813

email : kyushu-jseg@chiken.co.jp

令和5年度 第45回通常総会資料

1. 令和4年度事業報告
2. 令和4年度収支決算報告
3. 令和4年度監査報告
4. 令和5年度事業計画
5. 令和5年度事業予算
6. 令和5年度役員改選
7. 会則の一部改定(九州応用地質学会)
8. 研究助成費制度案の検討
(九州応用地質学会)

令和5年5月26日

一般社団法人 日本応用地質学会九州支部
九州 応 用 地 質 学 会

総 会 次 第

開会の辞	総合司会
支部長あいさつ	支 部 長
議長選出	総合司会
総会成立宣言	議 長
1. 令和4年度事業報告	代表幹事
2. 令和4年度収支決算報告	事 務 局
3. 令和4年度監査報告	会計監事（監事）
4. 令和5年度事業計画	代表幹事
5. 令和5年度事業予算	事 務 局
6. 令和5年度役員改選	支 部 長
7. 会則等の一部改定 （九州応用地質学会）	幹 事 長
8. 研究助成費制度案の検討 （九州応用地質学会）	幹 事 長
議長解任	議 長
閉会の辞	総合司会

会場：パピヨン 24 3階 12号会議室 福岡県福岡市博多区千代1丁目17-1

1. 令和4年度 事業報告

第44回 通常総会・講演会

- (1) 日 時：令和4年5月27日（金）13:00～17:00
(2) 場 所：福岡県中小企業振興センター 303会議室
（福岡市博多区吉塚本町9-15）
※ハイブリッド開催（対面：役員のみ＋リモート形式）
- (3) 内 容：
・特別講演① 13:00～14:15
『九州の火山噴火の年代学：14C 年代と暦年較正
を中心に』
講師：奥野 充 様
（大阪公立大学大学院理学研究科 教授）
・総会 14:30～15:30
（一社）日本応用地質学会九州支部および
九州応用地質学会の総会を開催
・特別講演② 15:45～17:00
『熊本地震の痕跡と防災減災への活用』
講師：鳥井 真之 様
（熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育
センター 特任准教授）
- (4) 総会内容
・支部長あいさつ : 池見 洋明（支部長・会長）
・議長選出 : 池見 洋明（支部運営規定による）
・議長総会成立宣言：池見 洋明（議長）
（（一社）日本応用地質学会九州支部）
個人会員総数 190名
総会参加者 出席者 53名
委任状 60名 計 113名
会員の1/5（必要成立数38名）を超えるため総会成立
（支部運営規定15条）
（九州応用地質学会）
個人会員総数 284名
賛助会員 57社
総会参加者 出席者 76名
委任状 120名 計196名
会員の1/5（必要成立数57名）を超えるため総会成立
（学会会則11条）
- ・令和3年度事業報告 : 矢野 健二（代表幹事）
 - ・令和3年度決算報告 : 島内 健（事務局）
 - ・令和3年度監査報告 : 牧野 隆吾（監 査）
 - ・令和4年度事業計画 : 矢野 健二（代表幹事）
 - ・令和4年度事業予算 : 島内 健（事務局）
 - ・役員改選 : 矢野 健二（代表幹事）
 - ・支部運営規定の改定 : 矢野 健二（代表幹事）
 - ・九州応用地質学会会則等の一部改定 : 矢野 健二（幹事長）
 - ・投稿規程の一部改定 : 矢野 健二（幹事長）
 - ・議長解任
 - ・閉会

九州応用地質学会 評議員会

- (1) 日 時：令和4年5月27日（金） 11:00～12:00
(2) 場 所：福岡県中小企業振興センター 303会議室
（福岡市博多区吉塚本町9-15）
※ハイブリッド開催（対面：役員のみ＋リモート形式）
- (3) 出席者：32名 会場13名（リモート19名）
池見会長，（奥野副会長），矢野幹事長
〔顧問〕平田，（岩松，黒木）
〔評議員〕荻野，榊岡，（黒田，蔭，高田，福富，
山口）
〔監査〕牧野
〔幹事〕島内事務局長，梅崎，大石，小野山，小泉，
徳田，矢田，（池田，碓井，宇都忠，川口，
正野，新谷，中川，縄田，森田，山口，山田）
- (4) 議事内容：
・令和3年度事業報告 : 矢野 健二（代表幹事）
・令和3年度決算報告 : 島内 健（事務局）
・令和3年度監査報告 : 牧野 隆吾（監 査）
・令和4年度事業計画 : 矢野 健二（幹事長）
・令和4年度事業予算 : 島内 健（事務局）
・役員改選 : 矢野 健二（代表幹事）
・支部運営規定の改定 : 矢野 健二（代表幹事）
・九州応用地質学会会則等の一部改定 : 矢野 健二（幹事長）
・投稿規程の一部改定 : 矢野 健二（幹事長）

九州応用地質学会 令和4年度評議員・幹事合同役員会

- (1) 日 時：令和4年12月6日（火） 15:00～17:30
(2) 場 所：福岡県中小企業振興センター 501会議室
（福岡市博多区吉塚本町9-15）
- (3) 出席者：40名 会場15名（リモート25名）
（池見会長），大石副会長，矢野幹事長
〔顧問〕平田
〔評議員〕香月，古賀，柴田，武末，溝上，（梶原，
工藤，黒田，高田，中島，福富，藤澤，榊岡，
吉田）
〔監査〕荻野，（牧野）
〔幹事〕島内事務局長，梅崎，小野山，徳田，碓井，
山田（矢田，宇都忠，青柳，池田，川口，小泉，
新谷，中川，縄田，藤井，松崎，矢田，山口，
山下）
- (4) 内 容：
1) 令和4年度事業中間報告
・令和4年度第44回総会 : 矢野 健二（幹事長）
・令和4年度講習会 : 小野山裕治（担当幹事）
・令和4年度見学会 : 梅崎 基考（担当幹事）
・令和4年度研究発表会：矢田 純（担当幹事）
・会報GET九州（No. 44）：徳田 充樹（担当幹事）
・広報ホームページ : 宇都 忠和（担当幹事）
2) 令和4年度収支中間報告 : 島内 健（事務局）
3) その他の事業等報告
・「アウトリーチ活動」への参画

- ：島内 健（事務局）
「先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本 2022」参加報告
- 4) 「九州応用地質学会」会則の一部改定案
：矢野 健二（幹事長）
- 5) 研究助成費制度案の検討：矢田 純（担当幹事）
- 6) 役員変更：島内 健（事務局）
- 7) 会員動向：島内 健（事務局）
- 8) 令和5年度事業予定（案）
：矢野 健二（幹事長）
- ・45周年記念事業の検討：梅崎 基考（担当幹事）
- 9) その他意見質問等

幹事会

〔第6回幹事会（令和3年度幹事会）〕

- (1) 日 時：令和4年4月23日（金） 18:00～20:30
- (2) 場 所：日本地研株式会社 別館1階会議室
- (3) 出席者：24名 会場3名（リモート21名）
矢野代表幹事・幹事長，徳田，島内
（池見支部長・会長，奥野副支部長・副会長，大石，小泉，小野山，矢田，宇都忠，安達，池田，碓井，宇都秀，川口，正野，中司，縄田，照井，森田，山口，山下，山田，横路）
- (4) 議事内容
- 1) 前回幹事会議事録の確認
 - 2) 事業報告（令和3年度）
 - ・見学会
 - ・会報GET九州No. 43
 - 3) 令和4年度（2022年度）総会・講演会・評議員会
 - 4) 事業予定（令和4年度）
 - ・講習会 ・見学会 ・研究発表会
 - ・会報GET九州 ・ホームページ
 - 5) 本部連絡事項
 - 6) その他連絡・審議事項
 - 7) ホームページ
 - ・「先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本 2021, 2022」について
 - ・図書在庫について
 - ・未納会費の処理、会費滞納者の扱いについて
 - ・会員動向
 - ・その他
「災害碑九州ワーキンググループ（WG）」

〔第1回幹事会（令和4年度幹事会）〕

- (1) 日 時：令和4年6月24日（金） 18:00～20:30
- (2) 場 所：日本地研株式会社 別館1階会議室
- (3) 出席者：26名 会場5名（リモート21名）
矢野代表幹事・幹事長，大石副支部長・副会長，小野山，徳田，島内
（池見支部長・会長，梅崎，矢田，宇都忠，池田，碓井，宇都秀，川口，小泉，正野，新谷，照井，中司，

- 縄田，松崎，森田，山浦，藤井，山口，山田，横路）
- (4) 議事内容
- 1) 前回幹事会議事録
 - 2) 評議員会・総会（R4/5/27）報告
 - 3) 担当幹事構成について
 - 4) 今年度の事業予定
 - ・講習会 ・見学会 ・研究発表会
 - ・会報GET九州 ・ホームページ
 - 5) 本部連絡事項
 - 6) その他連絡・審議事項
 - ・災害碑WG について
 - ・書籍「土砂災害の疑問55」について
 - ・九州応用地質学会 魅力発信検討委員会（仮称）
 - ・「先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本 2022」について
 - ・事務局より
（事業予算の取り扱い(案)について，九州技報第71号に掲載する催し物の紹介について，土木学会西部支部「斜面崩壊と雨の降り方の関係に関するシンポジウム北九州2022～斜面災害による人的被害を無くすために～」後援名義使用について，連絡事項）
 - ・その他（会員動向）

〔第2回幹事会〕

- (1) 日 時：令和4年8月10日（水） 18:00～20:30
- (2) 場 所：日本地研株式会社 別館1階会議室
- (3) 出席者：22名 会場3名（リモート19名）
矢野代表幹事・幹事長，徳田，島内
（池見支部長・会長，大石副支部長・副会長，小野山，梅崎，矢田，宇都忠，安達，川口，小泉，正野，新谷，照井，中司，縄田，森田，藤井，山下，山田，横路）
- (4) 議事内容
- 1) 前回幹事会議事録
 - 2) 今年度の事業予定
 - ・講習会 ・見学会 ・研究発表会
 - ・会報GET九州 ・ホームページ
 - 3) 本部連絡事項
 - 4) その他連絡・審議事項
 - ・代議員選挙について
 - ・災害碑WG について
 - ・45周年記念行事の検討について
 - ・九州応用地質学会 魅力発信検討委員会（仮称）
 - ・「先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本 2022」について
 - ・事務局より
（事業予算の取り扱い(案)について，連絡事項）
 - ・その他（会員動向，役員変更等）

〔第3回幹事会〕

- (1) 日 時：令和4年10月7日（金） 18:00～20:30
- (2) 場 所：日本地研株式会社 別館1階会議室

- (3) 出席者：22名 会場4名（リモート18名）
矢野代表幹事・幹事長，大石副支部長・副会長，徳田，島内
（池見支部長・会長，小野山，梅崎，矢田，宇都忠，安達，宇都秀，小泉，正野，照井，中川，縄田，松崎，森田，藤井，山下，山口，山田）
- (4) 議事内容
- 1) 前回幹事会議事録
 - 2) 今年度の事業等報告
・講習会
 - 3) 今年度の事業等予定
・見学会 ・研究発表会 ・会報GET九州
・ホームページ ・「先進建設・防災・減災技術フェアin 熊本2022」
 - 4) 本部連絡事項
 - 5) その他連絡・審議事項
・九州災害碑WG
・45周年記念行事の検討について
・九州応用地質学会 魅力発信検討委員会
・事務局より
（令和4年度評議員・幹事合同役員会，「九州応用地質学会」会則の一部改定に関わる議案，事業予算の取り扱い（案）について，事務局ノートPC部品・ソフト等更新）
・その他（会員動向・役員変更等，支部発行資料の収集について）

[第4回幹事会]

- (1) 日時：令和4年11月30日（金） 18:00～20:30
- (2) 場所：リモート開催
- (3) 出席者：22名
池見支部長・会長，矢野代表幹事・幹事長，大石副支部長・副会長，小野山，梅崎，矢田，徳田，宇都忠，島内，安達，碓井，川口，小泉，正野，新谷，中川，中司，縄田，藤井，松崎，森田，山田
- (4) 議事内容
- 1) 前回幹事会議事録
 - 2) 今年度の事業等報告
・講習会 ・見学会 ・研究発表会
・アウトリーチ活動への参画「先進建設・防災・減災技術フェアin 熊本2022」
 - 3) 今年度の事業予定
・会報GET九州 ・ホームページ
 - 4) 本部連絡事項
 - 5) その他連絡・審議事項
・令和4年度評議員・幹事合同役員会
・九州災害碑WG
・45周年記念行事の検討について
・九州応用地質学会 魅力発信検討委員会
・研究助成費制度（案）の検討
・事務局より
（「九州応用地質学会」会則の一部改定に関わる議案）
・その他（会員動向・役員変更等）

[第5回幹事会]

- (1) 日時：令和5年2月17日（金） 18:00～20:30
- (2) 場所：日本地研株式会社 別館1階会議室
- (3) 出席者：22名（会場3名、リモート19名）
矢野代表幹事・幹事長，徳田，島内
（池見支部長・会長，小野山，梅崎，矢田，宇都忠，安達，碓井，宇都秀，川口，小泉，正野，新谷，照井，中川，中司，縄田，藤井，山下，山田）
- (4) 議事内容
- 1) 前回幹事会議事録
 - 2) 評議員・幹事合同役員会議事録
 - 3) 事業等報告・予定（令和4・5年度）
・講習会 ・見学会 ・研究発表会
・会報GET九州 ・ホームページ
・アウトリーチ活動への参画「先進建設・防災・減災技術フェアin 熊本2022・2023」
 - 4) 本部連絡事項
 - 5) その他報告・連絡事項
・令和5年度（2023年度）総会・講演会・評議員会
・令和5年度（2023年度）担当幹事構成
・研究助成費制度（案）の検討
・「九州応用地質学会」会則の一部改定に関わる議案
・45周年記念行事の検討
・九州災害碑WG
・事務局より
（未納会費の処理・会費滞納者の扱いについて，会員動向・役員変更等）
・その他

令和4年度 講習会・見学会・研究発表会

〔講習会〕

- (1) 日 時：令和4年10月5日（水）
- (2) 場 所：リファレンス駅東ビル V1 会議室
（福岡市博多区博多駅東1-16-14）
- (3) テーマ：「LP微地形表現図の判読講習会」
- (4) 参加人数：51名（内訳 会員20名〔賛助会員企業含む42名〕，非会員31名〔非会員価格9名〕）
- (5) プログラム：
9:30～10:00 会場受付
10:00～12:00 LP微地形表現図を用いた地形判読の概要
13:00～14:30 災害要因地形の判読実習
（单元斜面，災害要因地形毎の判読実習）
14:30～15:45 沿道斜面の判読演習
（演習形式で单元斜面内災害要因地形の抽出）
15:45～16:45 講師による判読結果の確認・添削
（グループ形式）
16:45～17:00 メイン講師による質疑応答・全体講評

〔見学会〕

- (1) 日 時：令和4年11月2日（水）
- (2) 場 所：熊本県阿蘇地方（立野ダム，新阿蘇大橋，旧阿蘇大橋（震災遺構），災害碑）
- (3) テーマ：立野ダム施工現場見学会
～熊本地震からの復興とともに～
- (4) 参加人数：42名（当日参加42名，当日欠席2名）
内訳 会員28名・賛助会員8名・福岡県地質調査業協会会員6名）
- (5) プログラム：
12:30～13:30 （集合場所1）JR 熊本駅新幹線口
（旧立野小学校へバス移動）
～13:30 （集合場所2）旧立野小学校
14:00～15:30 立野ダム施工現場（座学～現地見学）
（立野ダム工事事務所様よりご説明・案内）
15:30～17:00 旧阿蘇大橋遺構，新阿蘇大橋，数鹿流崩れと自然災害碑
17:00 旧立野小学校（現地集合）解散
18:00 JR 熊本駅着 解散

〔令和4年度研究発表会〕

- (1) 日 時：令和4年11月17日（木）
- (2) 場 所：福岡県中小企業振興センター301会議室
（ハイブリッド開催：対面＋リモート）
- (3) 参加人数：87名（現地51名，オンライン36名，当日欠席3名）
内訳 会員64名・非会員19名・学生4名）
- (4) 応募論文：
通常セッション5編（10:40～11:55）
発表1 地下水流動によるパイプ閉塞に起因するすべり機構
発表2 周波数効果を利用した電気探査の研究
発表3 鹿児島市街地における温泉探査事例
（重力探査・電磁探査）
発表4 桜島火山における地形シミュレーションと

現地形との比較

- 発表5 シラス地帯における深部斜面変動について
ポスターセッション1編（コアタイム 13:00～13:20）
水文観測支援アプリの開発
特別セッション5編（14:30～15:45）
『九州の自然災害伝承碑とアウトリーチ』
発表6 九州災害碑WG の立ち上げと活動状況について
発表7 福岡県における自然災害の伝承
－ 福岡県西方沖地震の例－
発表8 佐賀・長崎両県における北松型地すべりに関連する自然災害伝承碑
発表9 熊本県の災害伝承碑に関する調査報告
発表10 大分県の災害伝承碑に関する調査報告
- (5) 特別講演：13:20～14:20
『住民の避難判断を支援する地形情報のあり方』
野々村 敦子先生（香川大学創造工学部 教授）
 - (6) 優秀発表賞：
「桜島火山における地形シミュレーションと現地形との比較」

アウトリーチ活動への参画

〔先進建設・防災・減災技術フェアin熊本2022〕

- (1) 日 時：令和4年11月9日（水）～10日（木）
- (2) 場 所：グランメッセ熊本
（熊本県上益城郡益城町福富1010：益城熊本空港IC横）
- (3) 展示参加者：6名（会員）
会場来場者 合計 5,886 人
11/9（水）3,510 人・11/10（木）2,376 人
- (4) 展示内容：
会場内の展示ブースにて，九州支部の活動状況（九州災害碑WG・令和3年度オンライン見学会）を中心に，ポスター展示及び，熊本地震・西日本豪雨等の災害調査団報告書，支部会報（GET九州），40周年記念論文集等を展示，紹介

支部・九州応用地質学会会報 GET九州 No. 44 発行

・545部 印刷，令和5年3月31日発行

2. 令和4年度 収支決算報告

九州応用地質学会 令和4年度 決算報告

令和5年3月31日現在

科目	内訳明細	令和3年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	備考
前年度繰越金		2,518,482			
事業活動収入					会費収入、事業収入、雑収入
会費収入		1,280,000			
個人会員		520,000			個人会員237名
賛助会員		760,000			賛助会員53社
事業収入		216,500			
学術集会事業収益計	研究発表会・見学会・講習会参加費、シンポジウム懇親会会費等	126,500			
	A 総会・講演会 意見交換会	0			開催なし
	C 講習会 参加費	60,000			会員価格42名、非会員価格9名
	C 講習会 意見交換会	0			開催なし
	D 見学会 参加費	66,500			会員42名、非会員1名
	E 研究発表会 意見交換会	0			開催なし
	E 研究発表会 参加費	0			会費90名
	F 合同役員会 意見交換会	0			開催なし
	K 拡大総務委員会 意見交換会	0			開催なし
会誌等頒布収益	研究発表会論文集	0			論文集電子版として発行(計上なし)
会誌等頒布収益	書籍販売	0			
広告掲載料収益		90,000			(GET九州No.43)
受取助成金	福岡地質調査業協会 見学会共催金	0			11/1受領
雑収入		5			
受取利息	預貯金利息	5			福岡銀行 黒門支店(普通口座)
雑収益	上記に属さない収入	0			
事業活動収入計		1,496,505			
事業活動収入合計		4,014,987			
2. 事業活動支出					
事業費支出		1,035,902			
人件費	総会・シンポジウム・研究発表会、見学会・講習会等のアルバイト料・特別講演謝礼金	0			
	A 総会 受付アルバイト代	0			幹事で対応
	C 講習会 アルバイト代	0			幹事で対応
	E 研究発表会 受付アルバイト代	0			幹事で対応
	F 合同役員会 受付アルバイト代	0			幹事で対応
旅費交通費	学術集会事業、学会誌発行事業、研究調査事業の特別講師の旅費等	0			
	A 総会 旅費・交通費	0			計上なし
	A 講演会 旅費・交通費	0			特別講演講師 計上なし(リモート参加)
	C 講習会 旅費・交通費	0			計上なし
	D 見学会 旅費・交通費	0			貸切バス代(九州産交ツーリズム(株))
	E 研究発表会 旅費・交通費	0			日本応用地質学会九州支部へ計上(特別講演講師)
	G 本部委員会出席のための旅費・交通費	0			リモートによる出席のため計上なし
通信運搬費	学術集会事業等の郵送・運搬費、学会誌用ラッピングフィルム印刷を含む等	178,232			
	A 総会・講演会・意見交換会 案内郵送代	59,304			総会案内往復はがき600通、切手代64通(総会資料)
	C 講習会 案内郵送代	8,568			切手代55通(講習会案内)
	D 見学会 案内郵送代	0			切手代158通(見学会案内)
	E 研究発表会 案内・論文集等郵送代	0			切手代292通(研究発表会案内)、本部機材借受(着払い)
	F 合同役員会 案内郵送代	12,600			切手代41通(合同役員会資料)
	H 会報(GET九州) 郵送代	97,760			GET九州 421通 郵送代
消耗品費	その他事務用品・消耗品	0			
印刷製本費	封筒 研究発表会論文集、研究発表会ポスター、シンポジウム予稿集、見学会資料、講習会資料、総会資料、学会誌印刷、別刷り印刷、編集補助費	470,623			
	A 総会・講演会・意見交換会 資料印刷	40,590			総会資料印刷70部(アオヤギ)
	C 講習会 案内印刷、資料印刷	0			日本応用地質学会九州支部へ計上(講習会資料印刷)
	D 見学会 案内印刷、資料印刷	2,845			見学会資料印刷45部他(日本地研・アバンス)
	E 研究発表会論文集印刷、案内ポスター、プログラム印刷	0			印刷製本代(事務局:日本地研)
	F 合同役員会案内、資料印刷	11,388			合同役員会資料(事務局:日本地研)
	H 会報(GET九州) 印刷費	415,800			会報データ編集・545部印刷費(アオヤギ)
会議費	各種会議・シンポジウム懇親会等	5,442			
	A 総会 会議費・意見交換会費	0			お茶・弁当・コーヒー代
	B 幹事会 会議費	5,442			お茶代(幹事会)
	C 講習会 会議費	0			計上なし
	D 見学会 会議費	0			お茶代
	E 研究発表会 会議費	0			計上なし
	F 合同役員会 会議費・意見交換会費	0			お茶・コーヒー代
	K 拡大総務委員会 会議費・意見交換会費	0			
賃借料	研究発表会・講習会会場費、設備使用料等	15,000			
	A 総会・講演会 会場費	0			5/27福岡県中小企業振興センター会議室
	C 講習会 会場費	0			10/5リファレンス駅東ビル会議室
	D 見学会 会場費	0			計上なし
	E 研究発表会 会場費	0			11/17福岡県中小企業振興センター会議室
	F 合同役員会 会場費	15,000			12/6福岡県中小企業振興センター会議室
	K 拡大総務委員会 会場費	0			
雑費	研究発表会、見学会・講習会、総会手数料	66,605			
	A 総会・講演会・意見交換会 雑費	165			総会用消毒液、振込料、当日駐車代(事務局)
	C 講習会 雑費	0			振込料、当日駐車代(事務局)
	D 見学会 雑費	0			振込料、旅行傷害保険料
	E 研究発表会 雑費	0			振込料、図書カード、賞状用紙・丸筒、当日駐車代(事務局)
	F 合同役員会 雑費	0			振込料、当日駐車代(事務局)
	H 会報(GET九州) 編集・製作 雑費	66,440			日本応用地質学会九州支部へ計上(44号会報封入れ作業等)
	K 拡大総務委員会 会場費	0			
その他事業費	地域研究会への補助金・協賛金	300,000			
	研究活動費	0			
	記念事業費(積立金)	300,000			記念事業特別会計の積立金
	予備費	0			研究活動費に伴う予備費用
管理費支出	事務局支出	68,425			
	旅費交通費	0			駐車場代他(研究発表会下見他)
	通信運搬費	33,084			切手代、書類宅配代
	事務用品費	0			所有品で対応
	事務用消耗品費	35,176			事務局封筒(角2・長3)、名刺用紙、ラベルシート、情報保護シール等
	印刷製本費	0			計上なし
	雑費	165			振込料、レンタルサーバドメイン登録・利用料 他
事業活動支出計		1,104,327			
事業活動収支差額		392,178			
次期繰越金		2,910,660			

内訳明細：A 総会・講演会・意見交換会、B 幹事会、C 講習会、D 見学会、E 研究発表会、F 合同役員会、G 本部委員会、H 会報(GET九州)、K 拡大総務委員会
* 拡大総務委員会は、一般社団法人日本応用地質学会 各支部で開催する支部の代表者を交えて、1回/年開催される(支部持ち回り)

九州応用地質学会 令和4年度 特別会計報告(周年記念事業)

令和5年3月31日現在

科目	令和4年度予算	令和4年度決算	備考
収入の部			
記念事業積立金			令和5年3月末までの繰り越し
当該年度分の積立金			
40周年記念誌売上			定価3,000円(会員2,000円)
①収入合計			
支出の部			
創立50周年記念事業費用			
1 記念式典			
2 記念研修旅行			
3 記念出版等			
4 事務用品費			
5 印刷通信費			
6 予備費			
7 雑費			
②支出合計			
収支(①-②)			

一般社団法人日本応用地質学会九州支部 令和4年度 決算報告

令和5年3月31日現在

科 目	費目の定義	令和4年度予算	令和4年度決算	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会 費 収 入				
正会員受取会費				
学生会員受取会費				
賛助会員受取会費				
国際会員受取会費				
国際賛助会員受取会費				
寄 付 金 収 入				
事 業 収 入				
学術集会事業収益	研究発表会・見学会・講習会参加費、シンポジウム懇親会会費 等			
学会誌発行収益	別刷り代、超過ページ代、カラー印刷代			
会誌等頒布収益	バックナンバー、書籍、研究発表会論文集、シンボ予稿集			
定期購読料収益				
広告掲載料収益				
研究発表会 意見交換会参加費	意見交換会参加費			
受 取 助 成 金	本部からの助成交付金			本部より受領(令和4年7月8日)
書籍販売				※土砂災害の疑問55 10冊 → 収入18,000円は 本部に送付(11/17研究発表会,12/6合同役員会で販売)
雑 収 入				
受 取 利 息				福岡銀行 原支店(普通口座)
雑 収 益				
前年度繰越金				令和3年度繰越金
事業活動収入計				
2. 事業活動支出				
事 業 費 支 出				
人 件 費	総会、見学会・講習会の講師謝礼、研究発表会の講師謝礼			5/27総会 特別講演 講師2名(リモート講演),11/17研究発表会 講師 講師1名 ※源泉所得税は本部送付
旅費交通費	学術集会事業、学会誌発行事業、研究調査事業の特別講師の旅費 等			11/9,10熊本交通費 11/17研究発表会 講師旅費
通信運搬費	学術集会事業等の郵送・運搬費、学会誌用ラッピングフィルム印刷を含等			案内送付(切手代・運送代)
消 耗 品 費	その他事務用品・消耗品			支部ノートPC関連 セキュリティソフト ESET,office365[teams更新],三脚・パソコンケース・バッテリー
印刷製本費	研究発表会論文集、研究発表会ポスター、シンポジウム予稿集、見学会資料、講習会資料、総会資料、学会誌印刷、別刷り印刷、編集補助費			11/17研究発表会[A0ポスター印刷],10/5講習会資料印刷
会 議 費	各種会議・シンポジウム懇親会 等			
賃 借 料	研究発表会・講習会会場費、設備使用料、見学会レンタカー・バス代 等			11/9,10テーブル椅子他レンタル・電源供給(先進建設・防災・減災技術フェア in熊本2022)
雑 費	研究発表会、見学会・講習会、総会手数料			振込手数料,11/9,10弁当代,会報発送封入れ費
その他事業費	支部交付金(本部のみ)、地域研究会への補助金・協賛金、熊本地震WG研究活動費			
事業活動支出計				
事業活動収支差額				
当期収支差額				

3. 令和4年度 監査報告
 (1) 九州応用地質学会 会計監査報告

令和5年3月31日現在

現 預 金 明 細

(単位:円)

九州応用地質学会		
預金名	預金口座	金 額
銀行普通預金		
郵便口座		
現金		
計		

記念事業積立金 (特別会計)		
預金名	預金口座	金 額
郵便口座		
郵便口座		
計		

監査の結果、決算の内容は適正かつ正確であることを認めます。

令和 5年 5月 17日

監 事

萩野晃平 

牧野隆吾 

(2) 一般社団法人 日本応用地質学会九州支部 監査報告

令和5年3月31日現在

現 預 金 明 細

(単位:円)

日本応用地質学会九州支部		
預金名	預金口座	金 額
銀行普通預金		

監 査 報 告

令和5年5月17日に関係書類及び証拠書類を監査した結果、令和4年度における一般社団法人日本応用地質学会九州支部の収入、支出は適正かつ正確に経理されていること、並びに一般社団法人日本応用地質学会九州支部の貸借対照表、損益計算書及び財産目録は、法人の財産及び損益の状況を適正に表示していることを確認した。

令和5年5月17日

一般社団法人日本応用地質学会九州支部 会計監事

萩野 晃平



牧野 隆吾



一般社団法人日本応用地質学会 九州支部運営規程

平成 22 年 7 月 1 日	制定
平成 23 年 2 月 25 日	改定
令和元年 5 月 20 日	改定
令和 4 年 12 月 21 日	改定
令和 5 年 2 月 21 日	改定

第 1 章 総 則

(名称)

第 1 条 当支部は、一般社団法人日本応用地質学会九州支部（以下「支部」という）と称する。

(構成)

第 2 条 支部は、規則第 103 条に定める九州支部の範囲の会員をもって組織する。

(目的)

第 3 条 支部は、当該支部の範囲における応用地質学に関する調査・研究の推進と技術の進歩普及、及び支部会員相互の交流を図ることを目的とする。

(事業)

第 4 条 支部は前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- 一 講演会、研究発表会、見学会等の開催
- 二 会長から委嘱された事業
- 三 支部活動の広報
- 四 本部及び各支部との連絡と情報の交換を図ること。
- 五 関連学協会との連絡及び協力
- 六 その他、必要と認められた事業

第 2 章 会 員

(会員)

第 5 条 支部会員は九州支部の範囲に居住又は勤務先を有する一般社団法人日本応用地質学会の会員（正会員、学生会員、名誉会員）とする。なお、支部会員は複数の支部に属することはできない。

②支部には、前項の会員の他に支部の目的に賛同し、支部の事業を援助するための支部賛助会員を設けることができる。

(会員の入退会)

第 6 条 第 5 条第①項の支部会員は、一般社団法人日本応用地質学会への入会をもって会員とし、退会したときに支部も退会とする。

②支部会員は、転居又は異動により当該支部の範囲に居住又は勤務しなくなったときは、所属支部を当該支部から新たな居住又は勤務先の支部に変更する。

③賛助会員を設けた場合の賛助会員の入会及び退会の承認は支部役員会にて行う。

第 3 章 支部役員

(支部役員)

第 7 条 支部に規則第 105 条により、次の支部役員をおく。

- 一 支部長：1 名
- 二 副支部長：若干名
- 三 幹事：若干名
- 四 会計監事：若干名

②前項の役員その他、必要により代表幹事 1 名をおくことができる。

(支部役員の選任及び委嘱)

第 8 条 規則第 106 条に定める支部役員の選任及び委嘱は、次項のとおりとする。

②支部役員は支部総会において支部会員のうち一般社団法人日本応用地質学会の正会員の中から選任し、支部長が委嘱する。

③会計監事は他の役員を兼ねることはできない。

(支部役員の解任)

第 9 条 支部役員はいつでも支部総会の決議によって解任することができる。

(支部役員の職務)

第 10 条 支部長は支部を代表し、支部総会及び役員会の議長となるほか、支部に関する会務を統括する。

②副支部長は支部長を補佐し、支部長に事故あるときはその職務を代行する。

③幹事は支部長を補佐し、支部会務を執行する。

④会計監事は支部の会計を監査する。また役員会に出席して、その職務について意見を述べることができる。

⑤代表幹事を第 7 条第②項により設置した場合には、代表幹事は役員会の代表として支部長を補佐し、支部会務を代表して執行する。

(支部役員の任期)

第 11 条 支部役員の任期は 2 年とし、選任されたその支部総会から翌々年の定時支部総会までとする。ただし、再任を妨げない。

②支部役員に欠損が生じ、支部長が補充の必要を認めるときは、支部長は支部役員会の承認を受けて補充する。

③補充された支部役員の任期は、前任者の残任期間とする。

④支部役員は任期満了後も後任者の就任が決まるまでは引き続きその任務を行う。

⑤支部役員は、所属支部を変えたとき直ちに支部長に報告し、その任を辞さなければならない。

(報酬)

第 12 条 支部役員は無給とする。

第 4 章 会 議

(会議)

第 13 条 支部の会議は支部総会及び支部役員会とし、支部総会は定時支部総会及び臨時支部総会とする。

②定時支部総会は毎年1回事業年度終了後2ヶ月以内に開催する。

③臨時支部総会は支部長が必要と認めたときに開催する。

④支部役員会は支部長が必要と認めたときに開催する。

(支部総会)

第14条 支部総会は、本規程に定めるもののほか、次の事項を決議する。

一 事業計画及び収支予算についての事項

二 事業報告及び収支決算についての事項

三 その他、支部の運営に関する事項

(支部総会決議)

第15条 支部総会は、支部会員のうち一般社団法人日本応用地質学会の正会員をもって構成し、正会員の5分の1以上の出席を要する。ただし、委任状も含む。

②支部総会の決議は、出席会員の過半数をもって行い、可否同数のときは議長がこれを決定する。

(支部役員会)

第16条 支部役員会は、本規定に定めるもののほか、次の事項を決議する。

一 支部総会に付議すべき事項

二 支部総会の決議した事項の執行に関する事項

三 その他、支部総会の決議を要しない会務の執行に関する事項

(支部役員会の構成及び決議)

第17条 支部役員会は、支部長、副支部長、幹事及び代表幹事を設けた場合には代表幹事並びに必要なに応じて会計監事をもって構成し、会計監事を除く役員構成員の過半数の出席を要する。

②役員会の決議は出席役員の過半数を、もって行う。

(支部委員会)

第18条 支部は業務の円滑を図るため、支部委員会等を設置することができる。

②支部委員会等に関する事項は、支部役員会が定める。

第5章 支部顧問

(支部顧問)

第19条 支部は、必要に応じて支部顧問を若干名おくことができる。

②支部顧問は、役員会で選任し、支部長が委嘱する。

③支部顧問は、支部の運営に関する重要事項について支部長の諮問に応じる。

第6章 会 計

(事業年度)

第20条 支部の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(経費)

第21条 支部の経費は、規則第107条第①項により、本部交付金、協賛金、行事参加費、その他の収入をもって支弁する。

②支部において10万円を超える資産を購入する場合は、事前に本部(常務理事)に申請しなければならない。

③常務理事は、申請された資産の購入に対し総務委員会で審議し、必要と認められた場合理事会に諮るものとする。

④理事会で承認された場合は、財産目録に計上し、資産の管理は支部が行うものとする。

(支部の事業報告及び決算)

第22条 支部長は、毎事業年度の終了後、事業報告書及び収支決算書を作成し、会計監事による監査を受け、支部総会の承認を得なければならない。

②支部長は、本部交付金を含む収支について、四半期(6月、9月、12月、3月)ごとに代表理事たる会長に報告しなければならない。

(会計監査)

第23条 会計監事は、会計監査をし、その結果を支部総会に報告しなければならない。

(支部の事業計画及び予算)

第24条 支部長は、毎事業年度に事業計画書及び収支予算書を作成し、支部総会の承認を得なければならない。

(支部事業の報告)

第25条 支部長は、規則第109条第①項により、毎事業年度の事業計画及び収支予算を毎事業年度開始日の前日までに会長に報告しなければならない。

②支部長は、規則第109条第①項により、毎事業年度の事業報告及び収支決算を毎事業年度終了後、会長に報告しなければならない。

③支部長又はその他の支部役員は、規則第109条第②項により、支部の活動報告等を理事会や総務委員会等を通じて定期的に報告することとする。

第7章 支部事務局

(事務局)

第26条 支部の事務処理のため支部事務局を置く。

②支部事務局に関する事項は支部役員会で定める。

第8章 雑 則

(支部内規)

第27条 支部長は、会務の運営上必要な事項に関する支部内規を作成することができる。

附則

(規程の制定、変更及び廃止)

第1条 本規程は、理事会の承認(平成22年7月1日)をもって施行する。

② 本規程の変更及び廃止は、支部総会の決議を経て、かつ理事会の承認を得なければならない。

③ 本規程に関する軽微な修正は理事会の承認によるものとし、支部総会の決議を必要としない。

4. 令和5年度 事業計画

令和5年度 事業予定

(1) 令和5年度 第45回 通常総会・講演会

日 時 : 令和5年 5月26日 (金) 13:15~17:35

場 所 : パピヨン24 3階 第12号会議室 (対面+オンライン:ハイブリット形式)

特別講演①: 13:15~14:30 「**権力・法律・宗教と技術者倫理**」

岩尾 雄四郎 (佐賀大学 名誉教授・九州応用地質学会 顧問)

総 会 : 14:45~16:05

「日本応用地質学会九州支部」及び「九州応用地質学会」の総会をそれぞれ開催

1) 令和4年度 事業報告

2) 令和4年度 決算報告

3) 令和4年度 監査報告

4) 令和5年度 事業計画

5) 令和5年度 事業予算

6) 令和5年度 役員改選

7) (九州応用地質学会) 会則の一部改定

8) (九州応用地質学会) 研究助成費制度案の検討

特別講演②: 16:20~17:35 「**炭酸塩堆積物と地球表層環境**」

松田 博貴 (熊本大学大学院先端科学研究部 (理学系) 地球環境科学 教授)

意見交換会: 18:00~20:00 (予定)

パピヨン24 2階 レストランアンド (立食形式)

(2) 講習会

日 時 : 令和5年9月 開催予定

テーマ : 『地震災害・豪雨災害における地質技術者の役割』

講 師 : 奥園 誠之 氏 (西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社 技術顧問) ほか選定中

場 所 : リファレンス駅東ビル5F V2 会議室 (対面形式で開催予定)

(3) 現地見学会

日 時 : 令和5年11月 開催予定

テーマ : 未定

場 所 : 福岡周辺

(4) 研究発表会

日 時 : 令和5年11月2日 (木) 10:00~17:00 予定

場 所 : 福岡県中小企業振興センター (ハイブリット形式にて開催予定)

特別講演: 東京大学大学院 徳永朋祥教授 (講演内容未定)

(5) 令和5年度 アウトリーチ活動 (広報・ホームページ)

「先進建設・防災・減災・技術フェア in 熊本 2023」

日 時 : 令和5年11月21日~22日 出展予定

場 所 : 熊本県上益城郡益城町 グランメッセ熊本

内 容 : 学会の活動報告について講演・展示等 (内容等について検討中)

(6) 九州支部会報「GET九州」No.45 令和6年2月 発行予定 (内容等について検討中)

(7) 45周年記念事業 (研修旅行)

日 時 : 令和5年9月

場 所 : 南北海道

(各事業の概要)

● 講習会

一般社団法人九州地域づくり協会の九州災害履歴情報データベースを確認したところ、昨年、一昨年と九州において大きな災害履歴が発生していない。しかしながら、地球温暖化による降雨強度の増大など極端現象の頻発、東南海・日向灘地震や警固断層等の高い地震想定確率など九州の災害リスクは年々増してきている。

寺田寅彦が弟子たちに日ごろから口にしてきた「天災は忘れた頃にやってくる」という戒めを忘れないように、今回のテーマは『地震災害・豪雨災害における地質技術者の役割』とした。

講習会の目的については、昨年『斜面防災・減災 106 のノウハウ～技術者に必須の知識と勘所～(日経BP)』を出版された(財)高速道路調査会フェローの奥園 誠之 氏をメイン講師に招き、高速道路での災害調査ならびに対応についての実績を学ぶと同時に、これまでの本支部・学会での災害対応実績やその課題・留意点なども踏まえ、忍び寄る豪雨・地震災害の緊急調査のあり方について学習する。

● 現地見学会

- ・45周年見学旅行とは別に、九州での見学会を実施する。
- ・見学会開催日は令和5年11月頃を予定、現地開催とする(募集人数:30名程度)。
- ・テーマは検討中であるが、一般社団法人福岡県地質調査業協会(福地協)様から協賛を頂いていることもあり、協会会員からの多くの参加がしやすい福岡周辺を見学ルートとしたい。

● 研究発表会

- ・開催日:令和5年11月2日(木)で決定。
- ・昨年度と同様に対面とオンラインを併用したハイブリッド形式とする。
- ・特別講演には、日本地下水学会会長の徳永先生(東京大学大学院)にご登壇いただく予定。
- ・口頭・ポスターによる一般発表に加え、自然災害伝承碑WGの成果報告を予定。
- ・若手会員の発表を奨励するため、優秀発表賞を継続。
- ・論文発表および参加申込は、オンラインフォームへの変更を検討中。

● 九州支部会報「GET九州」

- ・令和6年2月発行予定。

学会会報の目標として一般募集原稿の論文・報告等の充実を図るため、以下の活動を進めるべく計画している。

九州近辺の大学等に協力をお願いし、査読付きの論文集であることを周知した上で、卒論・修論の成果や博士号取得のための論文等の投稿をお願いする。併せて本学会の役員等から査読員を専門分野毎に依頼・登録し、しっかりした査読体制を確立する。

● 広報・ホームページ

- ・令和5年度を中心課題

基本戦略・調整会議(担当幹事、副支部長・副会長、代表幹事・幹事長、拡大事務局を必要に応じて)を2~3ヶ月に1回程度の頻度で開催し、課題解決を目指す。

- ① 広報の運用+企画・活動を広報・ホームページ担当幹事が可能な仕組みを構築
(会員内・学会外部へのコミュニケーション活性化・魅力発信、双方向のコミュニケーション)
- ② リアルでのアウトリーチ活動(主に防災・減災フェアを想定:本部研究委員会・災害碑等)
- ③ 九州応用地質学会ホームページ(学会内部でのコンテンツ/コミュニケーションを効率化)
→ ホームページの一般リリース、新規メールアドレスの運用開始、各種申込フォームの整備
→ 会報GET九州やホームページ編集作業の効率化(担当幹事間での情報共有と発信向上)
→ kyushu-jseg ニュースの配信内容と広報活動

● 45周年記念事業（研修旅行）

これまで5周年毎に海外見学旅行を実施してきたが、現情勢を鑑みて国内見学旅行を中心に検討の結果、「南北海道」を見学旅行先として選定した。

理由として、胆振地震と熊本地震の共通点と相違点を肌で感じることができ、応用地質学的な視点で北海道でも通常ではあまり行けない箇所を選定できる点が上げられた。

見学地案：胆振東部地震の地すべりとその復旧状況，有珠山・昭和新山，夕張石炭，幌満かんらん岩，森地熱発電所(北海道電力)，南茅部地区地熱開発(バイナリー発電・オリックス)，熱水型鉱床など。

見学時期：令和5年9月頃（3泊4日程度を予定）。

案内等：北海道支部の協力を頂く，事前の勉強会も実施予定。

担当幹事構成（案）

(九州応用地質学会/日本応用地質学会九州支部)

会長/支部長	池見
副会長/副支部長	大石
幹事長/代表幹事	矢野
事務局	<u>川口</u> (拡大事務局：企画担当 幹事長，事務局，各事業担当者)
講習会	小野山 縄田 碓井 青柳 森
見学会	梅崎 森田 照井 横路 小泉
研究発表会	矢田 安達 中川 池田 正野 山口
会報編集	徳田 山田 松崎 大石 宇都 ^秀 山下 矢野
広報	宇都^忠 中司 藤井 新谷 <u>島内</u>

太字は事業責任者

赤字下線は令和5年度より新規(事務局会社の交代:日本地研(株) → 応用地質(株))

5. 令和5年度 事業予算

九州応用地質学会 令和5年度 予算(案)

科目	内訳明細	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算	備考
前年度繰越金					
事業活動収入					会費収入、事業収入、雑収入
会費収入					
個人会員					個人会員(2,000円/1口)
賛助会員					賛助会員55社(10,000円/1口)
事業収入					
学術集会事業収益 計	研究発表会・見学会・講習会参加費、シンポジウム懇親会会費 等				
	A 総会・講演会後の意見交換会				30名を想定
	C 講習会 参加費				50名を想定
	D 見学会 参加費				30名を想定
	E 研究発表会 参加費				90名を想定
	E 研究発表会後の意見交換会				15名を想定
	F 合同役員会後の意見交換会				20名を想定
	K 拡大総務委員会後の意見交換会				開催なし
会誌等頒布収益	研究発表会論文集				論文集電子版とする
会誌等頒布収益	書籍販売				九州応用地質学会 書籍販売
広告掲載料収益					(GET九州No.45)
受取助成金	福岡地質調査業協会 見学会共催金				
雑収入					
受取利息	預貯金利息				
雑収益	上記に属さない収入				
事業活動収入 計					
事業活動収入 合計					
2. 事業活動支出					
事業費支出					
人件費	総会・シンポジウム・研究発表会、見学会・講習会等のアルバイト料・特別講演謝礼金				
	A 総会受付アルバイト代				幹事で対応
	C 講習会アルバイト代				
	E 研究発表会受付アルバイト代				幹事で対応
	F 合同役員会受付アルバイト代				
旅費交通費	学術集会事業、学会誌発行事業、研究調査事業の特別講師の旅費 等				
	A 総会・講演会(講師)旅費・交通費				特別講演会 講師 2名
	C 講習会(講師)旅費・交通費				講師 1名
	D 見学会(講師)旅費・交通費				貸切バス代(現地見学会移動)
	E 研究発表会(講師)旅費・交通費				特別講演講師 1名
	H 本部委員会出席のための旅費・交通費				令和4年度予算と同等
通信運搬費	学術集会事業等の郵送・運搬費、学会誌用ラッピングフィルム印刷を含む等				
	A 総会・講演会・意見交換会 案内郵送代				令和4年度決算に準じた
	C 講習会 案内郵送代				//
	D 見学会 案内郵送代				//
	E 研究発表会 案内・論文集等郵送代				//
	F 合同役員会案内郵送代				//
	G 会報(GET九州) 郵送代				//
消耗品費	その他事務用品・消耗品				
印刷製本費	封筒他 研究発表会論文集、研究発表会ポスター、シンポジウム予稿集、見学会資料、講習会資料、総会資料、学会誌印刷、別刷り印刷、編集補助費				
	A 総会・講演会・意見交換会 資料印刷				総会資料印刷70部を想定
	C 講習会 案内印刷、資料印刷				令和4年度予算に準じた
	D 見学会 案内印刷、資料印刷				令和5年度決算に準じた
	E 研究発表会論文集印刷、案内ポスター、プログラム印刷				//
	F 合同役員会案内、資料印刷				//
	G 会報(GET九州) 印刷費				会報データ編集・印刷費540部を想定
会議費	各種会議・シンポジウム懇親会 等				
	A 総会 会議費・意見交換会費				お茶・コーヒー・弁当・意見交換会(30名を想定)
	B 幹事会 会議費				令和4年度予算に準じた
	C 講習会 会議費				お茶等
	D 見学会 会議費				お茶等
	E 研究発表会 意見交換会費				15名を想定
	F 合同役員会 会議費・意見交換会費				お茶・コーヒー等・意見交換会(20名を想定)
	K 拡大総務委員会 会議費・意見交換会費				計上なし
賃借料	研究発表会・講習会場費、設備使用料 等				
	A 総会・講演会 会場費				会場見積もりによる
	C 講習会 会場費				令和4年度決算に準じた
	D 見学会 会場費				令和4年度予算に準じた
	E 研究発表会 会場費				令和4年度決算に準じた
	F 合同役員会 会場費				令和4年度予算に準じた
	K 拡大総務委員会 会場費				計上なし
雑費	研究発表会、見学会・講習会、総会手数料				
	A 総会・講演会・意見交換会 雑費				令和4年度予算に準じた
	C 講習会 雑費				//
	D 見学会 雑費				//
	E 研究発表会雑費				//
	F 合同役員会雑費				//
	G 会報(GET九州) 編集・製作 雑費				振込料等(会報封入れ作業費は日本応用地質学会で計上)
	I アウトリーチ活動 雑費				アウトリーチ活動に関する雑費(新設)
	K 拡大総務委員会 雑費				計上なし
その他事業費	地域研究会への補助金・協賛金				
	研究活動費				
	記念事業費(積立金)				記念事業特別会計の積立金
	予備費				研究活動費に伴う予備費用
管理費支出	事務局支出				
	旅費交通費				駐車場代他(会場下見他)
	通信運搬費				切手代、書類宅配代
	事務用費				
	事務用消耗品費				事務用封筒(角2・長3)、名刺用紙、ラベルシート、情報保護シール等
	印刷製本費				
	雑費				振込料、レンタルサーバードメイン登録・利用料 他
事業活動支出計					
事業活動収支差額					
次期繰越金					

内訳明細：A 総会・講演会・意見交換会、B 幹事会、C 講習会、D 見学会、E 研究発表会、F 合同役員会、G 会報(GET九州)、H 本部委員会、I アウトリーチ活動、K 拡大総務委員会
* 拡大総務委員会は、一般社団法人日本応用地質学会 各支部で開催する支部の代表者を交えて、1回/年開催される(支部持ち回り)

九州応用地質学会 令和5年度 特別会計予算(案) (周年記念事業)

科目	令和4年度決算	令和5年度予算	備考
収入の部			
記念事業積立金			令和6年3月末までの繰り越し
当該年度分の積立金			
40周年記念誌売上			定価3,000円(会員2,000円)
①収入合計			
支出の部			
創立50周年記念事業費用			
1 記念式典			
2 記念研修旅行			
3 記念出版等			
4 事務用品費			
5 印刷通信費			
6 予備費			
7 雑費			
②支出合計			
収 支 (①-②)			

一般社団法人日本応用地質学会九州支部 令和5年度 予算(案)

科 目	費目の定義	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算	備考
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
会 費 収 入					
正会員受取会費					
学生会員受取会費					
賛助会員受取会費					
国際会員受取会費					
国際賛助会員受取会費					
寄 付 金 収 入					
事 業 収 入					
学術集会事業収益	研究発表会・見学会・講習会参加費、シンポジウム懇親会会費等				
学会誌発行収益	別刷り代、超過ページ代、カラー印刷代				
会誌等頒布収益	バックナンバー、書籍、研究発表会論文集、シンボ予稿集				
定期購読料収益					
広告掲載料収益					
研究発表会 意見交換会参加費	意見交換会参加費				
受 取 助 成 金	本部からの助成交付金				令和5年度
書籍販売					※本部からの委託販売(支部会計に計上しない)
雑 収 入					
受 取 利 息					
雑 収 益					
前年度繰越金					令和4年度繰越金
事業活動収入計					令和5年度事業活動費
2. 事業活動支出					
事 業 費 支 出					
人 件 費	総会、見学会・講習会の講師謝礼、研究発表会の講師謝礼				令和4年度予算と同額 講師4名、総会・研究発表会等
旅費交通費	学術集会事業、学会誌発行事業、研究調査事業の特別講師の旅費等				講師の交通・宿泊費等
通信運搬費	学術集会事業等の郵送・運搬費、学会誌用ラッピングフィルム印刷を含む等				令和4年度決算額に準じた資料・案内送付他
消 耗 品 費	その他事務用品・消耗品				支部ノートPC teams・セキュリティソフト(年更新)他
印刷製本費	研究発表会論文集、研究発表会ポスター、シンポジウム予稿集、見学会資料、講習会資料、総会資料、学会誌印刷、別刷り印刷、編集補助費				令和4年度決算額に準じた講習会・会報等印刷製本費 他
会 議 費	各種会議・シンポジウム懇親会等				お茶・コーヒー等
賃 借 料	研究発表会・講習会会場費、設備使用料、見学会レンタカー・バス代等				先進建設・防災・減災技術フェアin熊本2023、見学会、講習会 他
雑 費	研究発表会、見学会・講習会、総会手数料				令和4年度決算額に準じた振込手数料・会報発送作業費等
その他事業費	支部交付金(本部のみ)、地域研究会への補助金・協賛金、WG研究活動費				
事業活動支出計					
事業活動収支差額					
当期収支差額					

6. 令和5年度 役員改選

役員名簿（令和4年度～令和5年度）

[会長]	[支部長]				
池見 洋明	日本文理大学工学部教授		福富 幹男	一般社団法人日本応用地質学会名誉会員	
			※ 藤澤 正浩	明大工業株式会社代表取締役	
[副会長]	[副支部長]				一般社団法人大分県地質調査業協会 理事長
大石 博之	西日本技術開発株式会社		※ 藤永 研二郎	藤永地建株式会社代表取締役	
			榊岡 謙治	応用地質株式会社九州事務所長	
[顧問]	[一]		※ 溝上 建	西日本技術開発株式会社土木本部長	
岩尾 雄四郎	佐賀大学名誉教授		元田 久登	株式会社双葉工務店	
岩松 暉	鹿児島大学名誉教授		山口 和登	株式会社長崎地研代表取締役社長	
平田 和彦	株式会社創建		横田 漠	宮崎大学名誉教授	
黒木 貴一	関西大学文学部教授		吉田 力雄	株式会社ワイビーエム代表取締役	
[評議員]	[一]		[幹事長]	[代表幹事]	
井上 道則	八千代エンジニアリング株式会社九州支店		矢野 健二	株式会社ジオテック技術士事務所	
宇都 忠良	株式会社アーステクノ取締役会長				
※ 仮) 竹本 将	西日本高速道路株式会社九州支店 (技術計画担当部長)		[幹事]	[幹事]	
			青柳 武彦	日本基礎技術株式会社九州支店	
大見 美智人	熊本大学名誉教授		安達 浩平	日本工営株式会社福岡支店	
奥園 誠之	西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社		池田 博嗣	九州電力株式会社総合研究所	
小島 淳二	一般社団法人宮崎県地質調査業協会会長		確井 敏彦	新日本グラウト工業株式会社	
梶原 景友	公益社団法人鹿児島県地質調査業協会 理事長		宇都 忠和	株式会社アーステクノ	
香月 裕宣	株式会社ジオテック技術士事務所代表取締役		宇都 秀幸	株式会社エース九州支店	
	一般社団法人福岡県地質調査業協会 理事長		梅崎 基考	株式会社アバンス	
※ 桐原 敏	大栄開発株式会社会長		小野山 裕治	国際航業株式会社	
工藤 伸	株式会社アバンス代表取締役		川口 小由美	応用地質株式会社九州事務所	
黒田 登美雄	琉球大学名誉教授		小泉 友美	株式会社九州地質コンサルタント	
上妻 睦男	株式会社建設技術研究所九州支店		正野 英憲	ショウノ自然研究所	
古賀 俊行	株式会社カミナガ代表取締役		島内 健	日本地研株式会社	
里見 武彦	サンコーコンサルタント株式会社九州支社長		新谷 俊一	株式会社ダイヤコンサルタント九州支店	
地頭 隆	鹿児島大学農水産獣医学域農学系農学部教授		照井 剛	第一復建株式会社	
柴田 佳久	株式会社ダイヤコンサルタント西日本事業部長		徳田 充樹	新地研工業株式会社	
嶋田 純	熊本大学名誉教授		中川 将	八千代エンジニアリング株式会社九州支店	
蔣 宇静	長崎大学工学部教授		中司 龍明	株式会社長崎地研	
城之内 明	日本物理探査株式会社九州支店長		縄田 徳広	明大工業株式会社	
白井 康夫	基礎地盤コンサルタント株式会社九州支社長		※ 藤井 哲夢	株式会社建設技術研究所九州支店	
高田 誠	中央開発株式会社九州支社長		松崎 達二	サンコーコンサルタント株式会社	
高森 重治	九州電力株式会社テクニカルソリューション 統括本部土木建築部長		森 秀樹	日鉄鉱コンサルタント株式会社	
			森田 祥子	中央開発株式会社九州支店	
田口 修	日本地研株式会社代表取締役		矢田 純	株式会社カミナガ	
武末 勝司	日本基礎技術株式会社九州支店長		山口 寛央	株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング	
鳥羽 美幸	一般社団法人長崎県地質調査業協会 理事長		山下 浩二	基礎地盤コンサルタント株式会社九州支店	
中島 史樹	株式会社建設技研インターナショナル		山田 好之助	藤永地建株式会社	
花村 修	株式会社九州地質コンサルタント代表取締役		横路 悠	川崎地質株式会社九州支店	
	一般社団法人九州地質調査業協会 理事長				
林 篤	日本工営株式会社福岡支店				
※ 真弓 貴宏	一般社団法人佐賀県地質調査業協会 理事長		[監事]	[会計監事]	
原田 克之	川崎地質株式会社九州支社長		萩野 晃平	国際航業株式会社 九州技術部長	
※ 原田 軍治	新日本グラウト工業株式会社会長		牧野 隆吾	日鉄鉱コンサルタント株式会社九州本社	

※新規・変更（太字は新規・任期中での変更等）

役職名は左が「九州応用地質学会」、右が「一般社団法人日本応用地質学会九州支部」

九州応用地質学会賛助会員名簿（五十音順） 令和5年度

名 称	代表者名	郵便番号	所 在 地	番号 FAX	口 数
株式会社アーステクノ	宇都 忠和	890-0072	鹿児島市新栄町 26-6	099-256-5167 099-256-0533	1
株式会社 アサノ大成基礎エンジニアリング	大森 将樹	812-0872	福岡市博多区春町 1-6-6	092-571-5681 092-581-7977	1
株式会社アバンス	工藤 伸	862-0942	熊本市東区江津 1-3-48	096-373-1801 096-373-1802	1
株式会社エース 九州支社	宮内 義浩	812-0013	福岡市博多区博多駅東 2-9 -25 アバンダント 84-206	092-292-0945	1
応用地質株式会社九州事務所	榎岡 謙治	811-1302	福岡市博多区住吉 3 丁目 1-80 博多ビル 3F	092-591-1840 092-573-0240	2
株式会社カミナガ	古賀 俊行	812-0007	福岡市博多区東比恵 2-7-13	092-451-6221 092-451-4854	2
川崎地質株式会社九州支社	原田 克之	812-0016	福岡市博多区博多駅南 1-8-34 博多 FR ビル 6F	092-292-4386 092-418-1180	2
基礎地盤コンサルタンツ株式会社 九州支社	白井 康夫	814-0022	福岡市早良区原 2-16-7	092-831-2511 092-822-2393	2
株式会社九州ジオテック	百田 忠義	838-0143	福岡県小郡市小板井 576-5	0942-72-7082 0942-27-8728	1
株式会社九州地質コンサルタント	花村 修	812-0874	福岡市博多区光丘町 2-3-21	092-586-0260 092-586-0075	2
九州電技開発株式会社	今村 義人	810-0005	福岡市中央区清川 2-13-6 -7 F	092-533-5177 092-533-5181	1
九州電力株式会社	池辺 和弘	810-8720	福岡市中央区渡辺通 2-1-82	092-761-3031 092-771-9541	1
株式会社計測技研	松尾 孝治	810-0062	福岡市中央区荒戸 1-2-2- 406	092-732-5383 092-939-2619	1
株式会社建設技術研究所九州支社	上村 俊英*	810-0041	福岡市中央区大名 2-4-12 シーティーアイ福岡ビル	092-714-2211 092-714-6307	1
興亜開発株式会社九州支店	米原 久晶	811-1302	福岡市南区井尻 3-12-33	092-572-7000 092-572-7002	1
国際航業株式会社九州支社	岩田 孝一	812-0013	福岡市博多区博多駅東 3-6- 3	092-451-5001 092-481-2594	2
株式会社 国土地質調査事務所	甲斐 重隆	880-0015	宮崎市大工 3-221-1	0985-29-8323 0985-24-2689	1
国土防災技術株式会社九州支社	近藤 剛史	862-0913	熊本市東区尾ノ上 1-15-5	096-213-8800 096-213-8877	1
株式会社コスモエンジニアリング 佐賀支店	中村 博生	849-0933	佐賀市卸本町 7-25	0952-36-8551 0952-36-8555	1
サンコーコンサルタント株式会社 九州支社	里見 武彦	810-0802	福岡市博多区中洲中島町 2-3 フジランドビル 6F	092-271-2903 092-271-2906	2
株式会社ジオテック技術士事務所	香月 裕宣	815-0031	福岡市南区清水 4 丁目 22-1	092-555-2767 092-555-2768	2
新地研工業株式会社	橋本孝太郎	812-0063	福岡市東区原田 1-42-41	092-611-5211 092-611-5213	1
新日本グラウト工業株式会社	山本 晋也*	815-0031	福岡市南区清水 1-15-18	092-511-8981 092-511-8908	1

名 称	代表者名	郵便番号	所 在 地	番号 FAX	口 数
株式会社親和テクノ	崎本 浩毅	857-0401	長崎県佐世保市小佐々町 黒石 339 番地 77	0956-41-3001 0956-41-3002	1
スペースエンジニアリング 株式会社	坂田 穰	816-0843	福岡県春日市松ヶ丘 6-10	092-596-6348 092-596-1342	1
株式会社創建	安藤 靖	883-0033	宮崎県日向市大字塩見 15227-1	0982-54-2562 0982-54-9505	2
第一復建株式会社	藤山 勤	812-0006	福岡市博多区上牟田 1 丁目 17-9	092-412-2230 092-412-2240	1
大栄開発株式会社	折原 尚司*	857-1151	長崎県佐世保市日宇町 2690	0956-31-9358 0956-32-2711	2
株式会社ダイヤコンサルタント 九州支社	田中 敏行	812-0044	福岡市博多区千代 5-3-19	092-645-1280 092-645-1281	1
大和探査技術株式会社九州支店	金指 勝	802-0802	北九州市小倉南区城野 2-3-7	093-922-0551 093-922-4012	1
中央開発株式会社九州支社	高田 誠	814-0103	福岡市城南区鳥飼 6-3-27	092-831-3111 092-821-5700	2
千代田工業株式会社	畦元 九	862-0913	熊本市東区尾上 2-18-3	096-381-3425 096-385-0727	1
株式会社東亜建設コンサルタント	大見多佳人	862-0920	熊本市東区月出 2-5-74	096-384-2265 096-384-3867	1
株式会社東京ソイルリサーチ 九州支店	山村 好英	812-0016	福岡市博多区博多駅南 5-8- 40	092-431-6421 092-431-6456	1
株式会社長崎地研	山口 和登	857-0115	長崎県佐世保市柚木元町 2192	0956-46-1005 0956-46-1669	1
南九地質株式会社	山田 和宏	890-0023	鹿児島市永吉 1-2-22	099-837-3330 099-837-3331	1
西技測量設計株式会社	鶴田 正治	810-0004	福岡市中央区渡辺通 2-9-3 西鉄渡辺通二丁目ビル 3F	092-712-1441 092-712-1492	1
西日本技術開発株式会社	中村 明	810-0004	福岡市中央区渡辺通 1-1-1 電気ビル サンセルコ別館	092-781-2831 092-761-7292	3
株式会社ニチポー	藤井 浩三	812-0888	福岡市博多区板付 4-7-28	092-591-3491 092-591-4405	2
日鉄鉱コンサルタント株式会社 九州本社	牧野 隆吾	812-0013	福岡市博多区博多駅東 2-6-23	092-451-6467 092-414-2826	2
日本基礎技術株式会社九州支店	武末 勝司	815-0075	福岡市南区長丘 5-28-6	092-552-2111 092-554-1133	1
日本工営株式会社福岡支店	生島 潤一*	812-0007	福岡市博多区東比恵 1-2-12 R & F センタービル 5 階	092-475-7131 092-475-7135	1
株式会社日本地下技術	緒方 康浩	890-0008	鹿児島市伊敷 5-16-3	099-218-0020 099-218-0021	1
日本地研株式会社	田口 修	812-0894	福岡市博多区諸岡 5-25-25	092-571-2764 092-574-2072	2
日本物理探査株式会社九州支店	城之内 明	803-0814	北九州市小倉北区大手町 7-38 大手町ビル 3 階	093-581-8281 093-581-8267	2
藤永地建株式会社	藤永研二郎*	857-0032	長崎県佐世保市宮田町 1-6	0956-23-9141 0956-22-0539	2
株式会社双葉工務店	岩隈 一幸	861-4113	熊本市南区八幡 8-3-9	096-357-2279 096-357-2279	1

名 称	代表者名	郵便番号	所 在 地	番 号 FAX	口 数
株式会社ベクトル	松永 邦彦	812-0018	福岡市博多区住吉 5-13-2	092-461-1091 092-461-1210	1
株式会社防災地質研究所	吉永 佑一	892-0816	鹿児島市山下町 12-8-405	099-239-6122 099-239-6122	1
株式会社南日本技術 コンサルタンツ	坪内己喜男	890-0034	鹿児島市田上 3-18-20	099-258-4477 099-258-2829	1
明大工業株式会社	藤澤 正浩	874-0922	大分県別府市船小路町 3-43	0977-24-1212 0977-22-5945	1
八洲開発株式会社	中川 廣*	862-0920	熊本市東区月出 1-1-52	096-384-3225 096-382-7039	1
八千代エンジニアリング株式会社 九州支店 ※R4.5 会社移転	真間 修一	810-0073	福岡市中央区舞鶴 3-9-39 福岡舞鶴スクエア 9F	092-778-2001 092-778-2020	2
陸コンサルタント株式会社	後藤 英幸	861-8045	熊本市東区小山 3-4-25	096-389-1711 096-389-1714	1
株式会社ワイビーエム	吉田 力雄	847-0031	佐賀県唐津市原 1534	0955-77-1121 0955-70-6010	1

※新規・変更

会員動向について（令和４年度）

◆一般社団法人日本応用地質学会 九州支部

○ 支部会員数 184名（令和５年３月３１日時点）

◆九州応用地質学会（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

〈個人会員〉

○ 現個人会員数（令和５年３月３１日時点） 291名

・新規個人会員入会者数

株式会社アーステクノ	8名
国際航業株式会社	2名
新地研工業株式会社	2名
日本地研株式会社	2名
株式会社エイト日本技術開発九州支社	1名
九州大学	1名
ジオクロノロジージャパン株式会社	1名
株式会社CTI グランドプランニング	1名
株式会社昭和ボーリング	1名
中央開発株式会社九州支社	1名

計 20名

・個人会員退会者数（退会，ご逝去，会費長期未納のため会員抹消含む）

計 10名

〈賛助会員〉

○ 現賛助会員数 55社 74口

役職	会社名	理由
賛助会員	三菱マテリアル株式会社筑豊事務所	賛助会員退会希望のため，賛助会員名簿から削除（令和4年6月～）
賛助会員	株式会社九州ボーリング工業	会社廃業が判明したため，賛助会員名簿から削除（令和5年2月～）

7. 九州応用地質学会 会則の一部改定

<審議事項>

(1) 第 16 条（新規） → 「事務局」を追加

日本応用地質学会支部運営規程第 26 条（支部事務局）に準じて、事務局を設置することおよび、事務局に関する事項は総会の承認を受けることについて追記する。

(2) 第 8 条 → 「九州応用地質学会の正会員」を追加

日本応用地質学会支部運営規程第 8 条（支部役員を選任及び委嘱）に準じて、役員のうち幹事長及び幹事は、正会員から選任・委嘱することを追記する。

会則一部改定の経緯について

(1) について

九州応用地質学会では従来、日本応用地質学会九州支部と併設して「事務局」を設置していたが、「九州応用地質学会」会則への記載がなかったこと、および今後の諸事項に対し総会承認にて決定することを目的として、追記することとした。

(2) について

役員のうち幹事長および幹事は、学会の目的に賛同し活動の中枢を担うことから、「正会員」の中から選ばれることが望ましいと考えている。

従来は特に会則に謳っている訳ではなかったが、新たに幹事に就く方には（最低でも）「九州応用地質学会」への入会をお願いしていることが通例であった。

会則第 2 条の本会の目的に準じて、追記することとした。

「九州応用地質学会」会則

(一部改訂案)

- 第1条 本会は、「九州応用地質学会」と称する。
- 第2条 本会は、九州地方において応用地質に関する研究の推進、技術の向上、会員相互の連絡および親睦を図ることを目的とし、一般社団法人日本応用地質学会九州支部と緊密に連携して活動するものとする。
- 第3条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。
1. 講演会、研究発表会、見学会等の開催
 2. 会誌、その他刊行物の発行
 3. その他、必要と認められた事業
- 第4条 本会は、次の会員をもって組織する。
- 正会員:会の目的に賛同する個人
賛助会員:会の目的に賛同する団体
友会員:会の役員経験者で役員を退いた人のうち会長の推薦する者
- 第5条 会員は、下記の会費を支払わねばならない。
- 正会員:年額2,000円
賛助会員:年額一口10,000円とし、
一口以上
友会員:会費免除
- 第6条 会に次の役員をおく。
- | | | | |
|-------|-----|-----|-----|
| 会 長 | 1名 | 幹事長 | 1名 |
| 副 会 長 | 2名 | 幹 事 | 若干名 |
| 評 議 員 | 若干名 | 顧 問 | 若干名 |
| 監 事 | 2名 | | |
- なお、役員は社団法人日本応用地質学会九州支部の役員と兼任することができる。
- 第7条 役員の任期は2年（総会から総会まで）とし、再任を妨げない。ただし、やむを得ない場合は2年未満とすることができる。
- 第8条 会長は、正会員の中から評議員会が推薦し、総会において承認を得るものとする。幹事長及び幹事は九州応用地質学会の正会員から選任し、会長が委嘱して総会の承認を得る。その他の役員は会長が委嘱して総会の承認を得る。ただし、年度途中において異動等が生じた場合は、その後任者を評議員会で承認することができる。

- 第9条 会長は会を代表し、会務を総括する。副会長は会長を補佐し、会長に支障ある時はこれを代行する。評議員は、会長の諮問によって、会運営の基本方針その他重要事項を審議する。幹事は、総会および評議員会の審議決定に従い、会の運営を推進し、幹事長はこれを総括する。
- 第10条 会の会議は、通常総会、臨時総会、評議員会および幹事会とする。通常総会は毎年1回とし、臨時総会、評議員会および幹事会は、会長が必要と認めるとき、随時これを招集する。
- 第11条 総会は、会運営の基本方針を決定する。その成立には委任状を含めて会員の5分の1以上の出席を必要とする。評議員会は、会長、副会長、評議員、監事、顧問をもって構成する。幹事会は、会長、副会長および幹事をもって構成する。
- 第12条 会の事業年度は、毎年4月から翌年3月までとする。
- 第13条 会の経費は、会費、協賛金、寄付金およびその他の収入をもってこれに充てる。
- 第14条 会の予算および決算は、幹事会の議決を経て総会の承認を受けるものとする。
- 第15条 この規定を改廃しようとするときは、総会の議決を経なければならない。

第16条 本会の事務処理のため事務局を置く。事務局に関する事項は、総会の承認を受ける。

付 則

1. 九州応用地質学会は「日本応用地質学会九州支部」の活動を継承する組織として平成16年5月14日に設立し、それまでの日本応用地質学会九州支部規定を一部修正してこれを会則とした。
2. 「九州応用地質学会」会則は、令和4年5月27日、令和5年5月26日にその一部を改訂した。
3. 日本応用地質学会九州支部規定は、昭和54年10月27日に施行し、昭和59年、62年、63年にその一部を改訂した。
4. 令和5年5月27日より下記に事務局をおく。

〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-80
オヌキ新博多ビル3階

(応用地質株式会社 九州事務所 内)

一般社団法人日本応用地質学会九州支部 事務局
九州応用地質学会 事務局

事務局長 川口 小由美
TEL 092-402-0840
FAX 092-402-0844
E-mail office@kyushu-seg.org

8. 九州応用地質学会 研究助成費制度案の検討

1. これまでの経緯

- ・令和元年度の合同役員会にて、「学会の運転資金に影響がない範囲で予備費（繰越金）を有効活用できないか」というご指摘をいただく。
- ・決算資料を遡って予備費の推移をチェックした結果、会員数は減少傾向にあるものの、予備費自体が目減りしているような状況ではない。会員サービスの向上や学会活動の活性化を目的として、予備費を供出することは可能だと判断。
- ・以降の幹事会にて予備費の活用について議論したところ、研究部会の立ち上げや研究費助成制度など様々な方策について提案が出される。
提案内容：『会報で論文公表または研究発表会での発表』を条件に研究費を助成する。
（参考）熊本のNPO 法人熊本自然災害研究会
- ・近年の研究発表会や会報への論文投稿数が少ないことを鑑み、学会が応用地質学に関連する研究の場を提供する『研究費助成制度の創設』で方針決定。
- ・来年度（令和5年度）からの運用を目標とし、会報での論文公表を条件とした制度の枠組みについて検討。
- ・合同役員会(R4.12)にて審議、意見徴収 ⇒ 反対意見なし

2. 研究費助成制度の枠組（案）

制度の枠組(案)を示す（下線部は、これまでの決定事項）

(1) 研究助成の趣旨

応用地質学分野に関する研究を推進し、学術的・技術的な発展ならびに人材育成に寄与する目的で研究助成を行う。

(2) テーマ

公募と学会で指定するテーマの2本立てとする。

学会で指定するテーマの案

- ・地質学に近いもの 例)立野火口瀬の形成プロセスなど
- ・災害復旧対策の今を調べる 例)熊本地震復旧の効果検証
- ・九州の地域地質とその魅力 例)地質と土地利用・インフラ・歴史・文化などとの関係
- ・花崗岩の岩石強度に関する研究 例)背振山地の花崗岩など

(3) 助成対象

九州応用地質学会の学会員を含む個人またはグループとする。

(4) 助成条件

九州地方における応用地質学の学術的発展に寄与する研究成果を公表する。そのうえで、九州応用地質学会が主催する行事において研究成果を報告する義務を負う。

- ①GET九州で論文公表（研究発表会での報告含む）
- ②研究発表会の報告（中間報告+最終報告）を基本とし、内容に応じて論文投稿をお願いする
- ③両方

課題：助成金額が十分とはいえない、論文投稿が理想ではあるが、ハードルが高い可能性あり

(5) スケジュール

- 条件1 会計処理上は、単年度で支出と清算の完結が望ましい
- 条件2 総会での承認事項となる。総会を基準として、研究発表会(11月)や会報発刊(3月)など九州応用のイベントに合わせたスケジュールリング

令和6年度から事業を開始する場合、令和5年の12月あたりからテーマを受け付ける。

令和6年度助成事業のスケジュール案

年度	R5年度					R6年度												R7年度											
	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
研究テーマ受付																													
テーマ選考/決定							承認												承認										
選考結果通知/交付手続																													
助成事業①(R6年度)													報告					精算					投稿		報告				論文
助成事業②(R6年度)													報告					精算						報告					
助成事業①(R7年度)																								報告					精算
助成事業②(R7年度)																								報告					精算

助成事業①：論文公表＋研究発表会 助成事業②：研究発表会

(6) 担当グループ・人数

運用管理全般（テーマの選考審査，窓口，進捗管理，イベント案内・橋渡し，トラブル処理）
を担う専門のグループ（委員会）を新たに創設する。
 （支部長・副支部長・幹事長・事務局・拡大事務局が加わる）

(7) 助成金額

- 条件：年間2件程度を採用した場合でも予備費が目減りしないこと
- ①論文公表まで 例) 10万円～
 - ②研究発表会まで 例) 10万円を上限など

(8) その他細部

- ・規定もしくは要綱のとりまとめ
- ・応募条件・内容 例) 申請書に記載書類様式の作成
- ・助成費の使途 例) 事前に概算費用を提示，助成範囲の明示（費目の検討）
- ・精算方法 例) 一括仮払い～年度末精算
- ・周知の方法 例) メールリングリストなど

3. 今後のタスク

総会で承認された場合は運営メンバーを正式決定し，未定の部分（上記(7)(8)）を検討していく。

－ 以 上 －